

小学校5年生「ここだけは、見たり体験したりしてみよう。」

調べる内容 ^{ないよう}		気づいたこと（文や絵で簡単に ^{かんたん} ）
問1	フーコーの振り子 ^{ふぶこ} と自分で作った振り子 ^{ふぶこ} とでは、どのような違い ^{ちが} があるだろうか。	自分の振り子は、小さくておもりも軽い。フーコーの振り子は、大きくてしっかり安定していて、ずっと同じ方向に振れているようだ。しかし、時間が経つと、振れる方向が変わって、ピンを倒した。 同じ方向に振れているのに、地球が自転するためにピンが倒れて、時間がわかるなんて不思議だと思った。 フーコーの振り子は自転によって振れている。
場所	1階 メインホール 「フーコーの振り子」 5分	
問2	人はどのように成長していくのだろうか。	母体の中で人としての形ができて生まれてくる。それから、見る、歩く、話すなど、筋肉や脳が次第に発達して、成長していく。
場所	1階 生命の科学 「赤ちゃんの成長」 「ヒトの成長」 10分	
問3	雲は、どのようにしてできるのだろうか。	地面があたたまり、地面にさわっている空気もあたたまる。あたたかくなった空気は上に上がっていく。空気には水分がふくまれているので、そのしめった空気が上空に上がると、高いほど気温が下がるので、空気中の水分が冷やされて、小さな水滴となる。その水滴のたくさんの集まりが雲と呼ばれるものである。
場所	1階 地球の科学 「身近な気象 ^{きしやう} 」 10分	
問4	日本の四季の気象には、どんな特徴 ^{とくちやう} があるのだろうか。	春：晴れと雨の日が3～4日で交互にくる。 それに連動して寒暖も変化し、夏に近づく 夏：高い気温で雷雲ができやすい。それは、高温で湿った気団が南から来るからだ。 秋：台風が上陸しやすい 秋雨はけっこう降って、雨量が多い。 冬：日本海側は雪、太平洋側は晴れの日が多い 関東地方は風が強い。冷たくて乾いた風だ。これは雪を降らせて水分がなくなった空気が吹いてくるからだ。
場所	1階 地球の科学 「地球気象台 / 雲の動きと気象のしくみ / 季節と代表的な雲の配置」 10分	

調べる内容 <small>ないよう</small>		調べる内容 <small>ないよう</small>
問 5	今日の天気の様子を、 気象庁の気象衛星画像で調べてみよう。	(例) 気温はあまりあがらない 午後から雨が降る 今日の朝は、こんなに寒かったのか。 今日はくもりだけど、宇宙から見ても、今日は雲が多いな。
場所	1階 地球の科学「地球気象台/雲の動きと気象のしくみ/気象衛星画像」 10分	
問 6	ころがるボールは、どのような動きをするのだろうか。	素早く動いていた。 様々な動きが見られておもしろい。 レールが切れているのに、落ちないで飛んで、またレールに乗った。 ジェットコースターのように1回転した。 なぜボールが落ちないのだろう。
場所	2階 力の国「ボールのサーカス」「ボールの運動」 10分	ボールが1個ずつ左右に分かれる仕組みがあった。
問 7	てこは物を動かしやすいのだろうか？	てこを使うと、重い物も力を入れずに楽に動かすことができる。(ただし、てこは、半分の力で動かせる場合は、2倍の距離を動かさなければならない。)
場所	2階 力の国「ドーナツリフト/てこ」 5分	
感想		